

めだかの学校だよ

平成18年5月1日
第52号

学舎：東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局：浜松市引佐町
東久留女木 472-111
TEL053-545-0381

校長訓話

第五十二回校長 鈴木 智香枝

「めだかの学校」に入校して1年です。まだまだ新入生気分でしたが、今回はなんと校長の重任を担うことになりました。給食当番から大出世です。

今回のテーマの根源にあるのは「コミュニケーション」。辞書には、「複数の人間が互いに言葉、ジェスチャーを使って、意思や感情、情報を伝え合うこと。他者から伝えられ



た情報を理解し、相手の心の状態を理解しようとする事。その過程」とあります。

「めだかの学校」も、もちろん「コミュニケーション」の場所。私は、1年間「めだかの学校」でいろいろ学ばせていただきました。何より驚かされたのは、皆様のパワーです。

「めだかの学校」として、個人個人として、何か事を起こそうとする活動力。いつも前へ前へ進もうとしているパワーです。前向きに進んでいる人との「コミュニケーション」はおもしろい！毎日の生活に役に立つことをいくつも教えて頂きました。（給食当番の仕事の中から！）

グラフィックデザインの仕事をしている上でも「コミュニケーション」、いかに情報を伝えるかということも毎日考えます。パソコンの普及で「コミュニケーション」の種類は大幅に増えました。メール、チャット、ブログ、ホームページなどなど。不特定多数の人々に情報を発信することも簡単にできるようになりました。



発信者または、情報を交わしている相手の顔がわからないこともあります。そのため、無責任な情報や意志をばらまいているケースを目にすることがあります。それを見るにつけ、自分の発信する情報、意見には責任を持ちたいと考えています。自分の発信した情報、意見に相手が反応し、「コミュニケーション」を交わしたことで少しでも相手と理解し合えたときがおもしろいと思えるのですから。

私は、毎日を「今日の自分より明日の自分の方が魅力的であるように」と生活しています。他の人と会って「コミュニケーション」を交わすことで人は成長できると思っています。これからも「めだかの学校」に通い、皆様と「コミュニケーション」を交わすことで明日の自分に期待したいと思っています。

めだかの学校伝言板

- 第52回めだかの学校を開校するので出席しなさい。——
- 開校日／平成18年6月2日（金）6:20PMより——
- 校 長／鈴木智香枝
受 付／小島栄一・袴田久夫・田中房子・藤野はつ枝
教 頭／古田賢二郎
齋藤昭（後見人）
用務員／浜口弘睦
<時間割>～少し中国と仲良くしよう、
珍聞漢文（ちんぷんかんぶん）～
給食係／萩田 博・浜口弘睦・加藤修一・村木謙弼
・一時間目／国語「5分で話せる中国語」
大場敬子先生
古田賢二郎・西川裕子・荒木順子・湯浅明美
・二時間目／書道「実技・添削で恥を書く」
大橋町代先生
斉藤敏子・渡辺三ツ子（チーフ）
・三時間目／音楽「みんなで唸ってストレス発散」
太田民次先生
<学舎> 静岡県浜松市引佐町東久留女木観音山
※給食の時間～旬のお料理・地産地消？お楽しみに～
みどりの郷キャンプ場
10:30 閉校
TEL なし

めだかの動き

泳ぎ回るめだかたち

■「なんでもあり農園」の近況
サトウキビは「甘蔗（カンショ）」と
言われていた。（サツマイモは「甘藷」で
ある。遠州横須賀地域の特産物として復
活され、定着してきた「しろした糖」は
その甘蔗から作られている。横須賀では
甘蔗栽培は、横須賀藩の家老潮田寛左衛
門が、自らの次男潮田信助を密かに四国
（土佐藩）に派遣し、当時秘密とされて
いた栽培法を研究させたことに始まる。
その信助が苦心の末に栽培技術と精糖技
術を会得し、さらにその苗を隠して横須
賀に持ち帰ったのは、寛政二年（一七
〇年）から四年のことといわれている。
藩は、その甘蔗を農民に栽培させ、城下
の甘蔗製造所（砂糖釜屋）で白砂糖を製
造した。白砂糖は、藩の専売品として困
窮した藩財政再建の助けとなった。
そんな甘蔗、すなわちサトウキビ栽培
に誘われてから、かれこれ一〇年になる。
「めだかの学校」に登校し始めて何回も
経たない頃に、遠州横須賀倶楽部のの方々
が声をかけてくれた。初めて行った畑は、
四角に整備され、かん水施設と排水路は
整っていたものの、雑草もまばらな荒れ
た砂畑であった。近くのイチゴ屋さんの
「赤ずきんちゃんのおもしろ農園」から
借りたトラクタで耕して苗を植えた。初
めて植えるというのに約二反近くも植え
た。沖繩などでは、毎年新しい苗を植え
るようであるが、遠州地方では、収穫し
た後の株を残して次の年に芽が出てくる
のを待つ。しかし、何年も繰り返すと収
穫量が極端に少なくなるので、四、五年
で植え替える必要がある。当農園も、同
じように植え替えるのは、あるもの運作障
害が出てきていて、天候不順のせい
なのか、ここ何年か反収が減り続けてい
る。今年も、一反ほど新しい苗に植えた
が、残した株は昨年十二月のきつい冷え
込みで、かなり被害を受けているようであ
るので、がんばって手入れをしなければ
豊作は見込めない。
サトウキビの周りや空いたところに

は、野菜や花などをたくさん植えている。
初めの頃は、野菜や花がたくさんの「な
んでもあり農園」であったが、最近はい
しごととい雑草の勢いに負けて、雑草が「な
んでもあり農園」になりつつある。今年
は、少なくなってきた「ハマボウフウ」の
復活や夏の暑さに負けたラベンダーの
再生、日陰で涼めるように柵も作って植
えたブドウの成長などを目指して、手入
に通いたいと思っている。
私たちのサトウキビ栽培は、自分たち
の私益にもならないし、何か地域に役立
つということもないが、先人の労苦を偲
びながら、手作り砂糖「よこすかしろ」
の原料確保に少しでも貢献できたらと
思っている。毎年続けてきている「サト
ウキビ狩り体験」には、メダカの皆さん
をはじめ多くの方々に来て頂いている。
お天気まかせ、暇まかせの農園活動は、
さまざまの方々と貴重な交流の場であ
り、野菜などがうまくできたときや思い
り、止められない。
私たち小作人がいようといまいと、
「なんでもあり農園」にお立ち寄り下
さい。そして、なにか食べられそうなの
やハーブがあったら採って行って下さい。
ついでに、草も取って行って下さい。（川
島さんから甘蔗の資料を頂いたのを機会
に農園の近況を報告しました。）
（なんでもあり農園小作人の松）

■はまなこ環境ネットワークの
第一回ワークショップに参加して
「はまなこ環境ネットワーク」は浜名
湖流域の住民、団体、企業等による連携
した環境保全活動の促進を図ったり、協
働して活動する場を創出することを目的
に平成17年3月に設立されました。（事
務局・県環境森林部自然保護室 事務局
受託機関・NPO法人地域づくりサポー
トセンター）めだかの学校は、ここに「水
源まつり」と「菜の花プロジェクト」を
登録しました。
去る4月22日、浜松市が政令指定都市
に向かって「天竜川・浜名湖環境共生計
画」を策定していくのにあたり、「はまな
こ環境ネットワーク」が主催して第一回
の市民ワークショップが村楠の「地球の

たまご（OMソーラー協会）で開かれ、
私やめだかのメンバーでもあるガラ紡愛
好会の鈴木さん、井上さんらが出席しま
した。他にも「舞阪の自然を守る会」や
「川や湖を約40名に市民会議」や建
設会社など約40名の参加者を数え、関心
の高さが伺えました。
会は静岡文化芸術大学の宮川教授の
話題提供に始まり、4班に分かれてのグ
ループディスカッションが主体で、「日頃
感じている浜名湖の環境に関する課題」
や「環境を活かしていきたいアイデア」
などについて話し合いました。全般的に、
「まず、市民の意識、認識を高めてい
こう、高めるためのイベントを実施してい
こう」というのが大方の意見で、これら
の意見は、次回（5月27日）とあわせ
て市の策定委員会に反映していく予定で
す。

■しずおか未来づくりネットワーク
交流会 in ふじおやま
3月11日（土）12日（日）の2日間
にわたり、「しずおか未来づくりネット
ワーク」交流会がふじおやまが、駿東
郡小山町で開催されました。小山町は静
岡県の最東部に位置し、世界遺産を目指
す富士山麓の大自然に恵まれた、風光
明媚な町です。また、町内にはF1開催
も決まった「富士スピードウェイ」もあ
り、それを活かすための取り組みも始
まっているようです。
当日は、大魔神溝口メダカ、横山メダ
カと一緒に会場となる「ふじおやま」
へ向かいました。研修会では小櫻代表幹
事の挨拶のあと、長田中央小山町長より、
町の紹介や取り組みについてお話があり
ました。続いて町内で活動する3団体よ
り事例発表があり、自然を活かした、ま
な地域に根ざした特色のある活動報告が
なされました。
その後は、3つの分科会に分かれ「未
来につなぐ地域のこころ」地域イベント

から得るもの「これからの地域活動の課
題」という、それぞれのテーマに沿って
意見交換を行いました。
分科会終了後はお楽しみ「交流会」小
山町の特産品「水掛け菜の漬物」や参加
者も持ち寄った、地元の皆さんと参加者
なども並べられ、地元の皆さんと参加者
相互の交流が繰り返りひろげられました。中
締めは恒例「遠州横須賀流」の手拍子で
（笑）そして、宿へ戻ったの「夜なべ談
義」が、時の経つのを忘れただかのように
夜更けまで続いたことは言うまでもあり
ません。
開催にご尽力いただいた小山町の皆
さん、本当にありがとうございました。
さて、来年の交流会はいつだどこ
で開催されるのか？今から楽しみです
ね！（鈴木武史メダカ）

■平成十八年、地域づくり団体全国
研修交流会は十一月十日・十一日の
2日間、愛知県で
全国の地域づくりに関わる人たちが
集まり、全体会やグループに分かれての
分科会・交流会や夜なべ談義など、全国
の面白く出合える大会が愛知県で開
催されます。内容は検討中。今年の二月
の沖繩大会にはメダカ生は参加してま
せんが、めだかの学校とは縁の深い大会で
す。近くでもあり、希望者は今から予定
を組んでおいて下さい。詳細が決まり次
第、連絡します。（事務局・バラ）

■「都田川・浜名湖」をテーマに「水
花フォーラム2006」が、8月に浜
名湖ガーデンパークで開催される
「川や湖をきれいにする市民会議」
（事務局・浜松市環境企画課内）主催で、
8月6日（日）浜名湖ガーデンパークで
開かれます。めだかの学校が主体となっ
て行っている「都田川水源まつり」の
花プロジェクトの活動が認められつつ
あります。3月23日には、「川と湖をき
れいにする会」（会長・井ノ口泰三さん）
の皆さんが、事務局の浜松市企画課職員
の方と、都田川の水源地などの視察に見え
ました。その際、都田川水源まつり＆菜
の花プロジェクトの活動などを聞かせて
ほしい」とのことから、午前九時から渡

から得るもの「これからの地域活動の課
題」という、それぞれのテーマに沿って
意見交換を行いました。
分科会終了後はお楽しみ「交流会」小
山町の特産品「水掛け菜の漬物」や参加
者も持ち寄った、地元の皆さんと参加者
なども並べられ、地元の皆さんと参加者
相互の交流が繰り返りひろげられました。中
締めは恒例「遠州横須賀流」の手拍子で
（笑）そして、宿へ戻ったの「夜なべ談
義」が、時の経つのを忘れただかのように
夜更けまで続いたことは言うまでもあり
ません。
開催にご尽力いただいた小山町の皆
さん、本当にありがとうございました。
さて、来年の交流会はいつだどこ
で開催されるのか？今から楽しみです
ね！（鈴木武史メダカ）

川のでんでんごりに集まって、一時間ほど話し合いをしました。めだかの学校からは伊藤茂男メダカ、牧野久子メダカ、神原幸雄メダカが参加しました。今回は、8月5日(日)に開催する『水フォーラム2006』に、都田川水源まつり＆菜の花プロジェクトに参加した団体に「是非出展に協力してほしい」との依頼です。今年も8月20日(日)の県民の日に「都田川水源まつり＆菜の花プロジェクト」を開催する予定です。広報と物販(資金稼ぎ)を兼ねて参加したいと思います。5月16日までに「意見を聞かせてください。事務局まで」(事務局053・545・0381)

■三遠南信ひとネットワークゆめまる「ゆめまる交流会 in 東栄町」を、「世界チェソーアート競技会 in 東栄町2006」と合流して開催
5月28日(日)・29日(月)の2日間、東栄町で開く。28日(日)は午前9時から受付で16時まで世界チェソーアート見学、15時から千代姫荘受付。19時講演「東栄町おもしろばなし」20時分散会・夜なべ談義。29日(月)9時全体会10時解散。会費は全日程1万円、交流会のみ3500円。詳細は夢◎事務局(0539・25・2792本島慎一)まで。※なお、世界チェソーアート競技会の日程は、5月27日(土)・28日(日)の2日間です。

■学舎周辺の草刈りと清掃

●5月28日(日)午前10時から、学舎周辺の草刈りをします。草刈り機、鎌など草刈りのできる服装でお出掛けください。お弁当持参です。新緑の中、おむすびをほおばるのもいいものです。「協力ください。草刈りのできない方は差し入れを!」
ナウンチャッテ。



◆学舎だより

◆道路拡幅工事のため、浜北探石場―中部探石場の区間『全面通行止』
●浜松市宮口(旧浜北市)・フルーツパーク方面から登校の生徒は、5月10日から8月31日まで同区間が全面通行止めとなります。前の時と同じように、探石場手前左への迂回路があります。舗装された山道です。「渡川方面」への案内指示通りに、気をつけて登校してください。

◇人・ひと・ヒト...だより

○警田市の川島安一メダカ。警田市にある静岡県農業試験場の場長に。著書の『スローな気分です生きてみたら』の実践、大丈夫?
○袋井市の自称「なんでもあり農園・小作人の松」の松本芳廣メダカは中遠農林事務所の所長に。中遠地域の休耕地はそば畑に。中遠のそば店のは粉は全て地元産。まさに「地産地消」期待してまーす。
○静岡市の吉岡徹郎メダカ。一昨年開催された浜名湖花博の会長代理の実績を買われて、富士山静岡空港の社長に。未だに賛否両論ある中での就任。くれぐれもお身体にはご留意を!
○浜松市引佐町の石野省三メダカ。浜松市立三ヶ日東小の校長に。なんと行ってもアウトドア派校長。子ども達の賑やかな声が野山に響きそう。ヤッホー、ナンチャッテ。
○浜松市根堅の奥宮教生メダカ。主宰する「一関五感の会」を2月26日の200回記念月例会をもって閉会。長い間ご苦労様でした。
○浜松市雄踏町の藤田潤吉・久枝メダカ。4月8・9日の二日間、富山県で開催された全日本チンドンコンクールに劇団員

の八木正子メダカ、佐藤律子メダカを引き連れて参加。藤田銭形平次、キレイどころに囲まれてメロメロだったとか。
○森町の服部工房主宰の服部守孝メダカ。警田市松ノ木島の伊藤英雄メダカの郵便受けを作製。オツ、格好いい!石垣を積み変えての土工事もやったとか。明日からは春野町の尾上美智子メダカの造園大丈夫かな?「なに、石を変えるだけだよ」と自信たっぷり。
○浜松市の丸一物産社長の古橋利雄メダカ。静岡県積善会から、長年にわたる毎朝の路上清掃活動が評価され表彰される。「私は隅っこにいるだけで」と。そう言えば新聞の写真でも隅っこで。

○警田市大平の鈴木正士メダカ。今年も4月29日に新茶摘みとコンサート。自園で採れた新茶と野草のてんぷらと手打ちそば...。大平荘はメダカ生も参加して大賑わい。
○森町の神原淑友メダカと警田市社山の市川祐一メダカ。茶園周辺の山の手入れも良くて今年もたくさんヤマユリが五月中旬から六月上旬にかけてヤマユリの香りと白さに彩られる。遊びに来て!だって「ヤマユリは感受性が強いので山の手入れが悪いと消えちゃうんですヨ」とは御前崎市上朝比奈の中嶋豊メダカ。
○アレツ、西川裕子メダカ?中日文化センターの折込チラシ、カルチャー講座のご案内。講座欄に「ゴスペルを歌おう」西川裕子先生。3月には伊藤茂男メダカのでんでんごりで、4月には藤野利昭メダカのそば店「藤花」で歌っている。間違いないか。SSの学苑のカルチャー講座には、田邊哲メダカ、鈴木真弓メダカ、寺田悦子メダカから「エッ、私も?」失礼いたしました。

○豊橋市の森田泰子メダカ。「とよはし100年祭提案イベント」の募集を機に、十人の会員で「豊橋の民話を語りつくす会」を結成。今年3月、多くの人の協力を得て発行にこぎつける。本の名は「片身の

スズキ」豊橋の民話。素朴で地域の暖かさが感じられていい。以降は各地を回って「語りの会」を開くそう。バラメダカ、つい乗せられて5月16日に「語り部」の講師に。まずは「ペロペロバー」からだっつて。
○浜松市の溝口久メダカ。浜松を全世界に夢は大きく、地域ブランド化を狙った映画「天まであがれが!!」の試写会が3月27日にあつた。自宅が主人公の家になつて登場、興奮気味。6月17日よいよ「100シネマス」で上映スタート。是非皆さんご覧ください。

もつともつと伝えたい。でも紙面の都合で今回はこれまで。ごめんね。

計報

言い出しつべの一人で初代校長の平山豊さんが、去る3月29日、65歳の若さで天国へ旅立ちました。3月3日の第51回開校日の午後3時頃、「バラさん、ごめんね、連絡が遅れて。出席するつもりだったけど入院中で。病院から。今まで出欠席の電話などはほとんどかけて奇こさなかつたのに。」「おやっ」と思ったが、それが別れの言葉になつたとは...。3月31日めだかの学校を代表して通夜に参列してきました。よくケンカもしたが夢を語り合った仲、早めに出掛けて言いたい放題言ってきました。「バラさんらしいや」と笑ってました。そんな気がした。「最後まで、めだかの学校へ出たい」と言っていましたと静代さん。また名物男がひとり「めだかの学校」を去りました。ご冥福をお祈りいたします。
(事務局・バラメダカ)

☆めだか春秋は都合によりお休みとさせていただきます。

☆めだかの学校「高知県・つくく馬路村」視察と四国のおもしろ町とおもしろ人を訪ねての遠足！

地域づくり人にとっては一度は訪ねてみたい「馬路村」。めだかの学校では、地域情報誌「かがり火」(発行人・菅原敏一メダカ)と共同で、地域づくりで有名な「高知県馬路村」と、四国のおもしろ町とおもしろ人を訪ねての視察遠足を計画しました。急なことです。ご案内いたします。(参加者募集)。

日程

①6月9日(金)・10日(土)・11日(日)の3日間(馬路村は2日間)。

②6月9日(金)・10日(土)の2日間
出発は9日の午前5時浜松発。(馬路村まで車で正味9時間)

9日午後2時、馬路村「ゆずの森」現地集合、東谷望史さんの案内で「ゆずの森」など視察。夜は馬路村温泉で東谷さんのお話と、大交流会。10日は午前中に馬路村をあとにして溝口久メダカの案内で、四国のおもしろ町の見学やおもしろ人との交流を予定。(10日の宿泊地は未定)。交通の手段は、参加者の人数にもよりますが、ワゴン車に分乗しないしはマイクロバスで(運転者がいればいいが)。馬路村までの所要時間は高速を利用して9時間。

※参加費は、2泊3日全て込みで5万円ぐらゐを予定しています。

※申込みは5月15日まで事務局(053・545・0381TEL/FAX)まで。

なお、この視察遠足は、町づくり、地域おこしなどに示唆するところが多いので、53回の「めだかの便り」に特集頁を作って報告する予定です。

※事務局のリンデンバウムでは、馬路村の「ぼん酢しようゆ ゆずの村」をメニューの料理で使っています。美味しいですよ。(事務局・榊原幸雄メダカ)

◆事務局だより

もう五月というのに今年はずかぬ日が少ないですね。季節の変わり目お身体にはご留意を！

ブルブルブルいちゃあマイツタね。3月3日の第51回めだかの学校。「ストロブつけようヨ」エツ、灯油がないの?」気分だけでもと、ストロブを前の方に目につくように置く。校長は山根圭三メダカ、教頭は鈴木真弓メダカ、用務員は古橋正浩メダカ。「3月3日はひなまつり。男と女を考えよう!」と特別授業風に。コメントーターの女性陣、佐藤律子メダカと金子芳美メダカが用事と風邪で欠席。男性は岡本卓也メダカが仕事で欠席。急遽鈴木真弓メダカと西川裕子メダカを指名。男性は浜口弘睦メダカ。「エツ、私が?」「いいからいいから」と。登校生は40名。風邪でダウンの人多く今まで最低。寒いからストロブのある前の方へ詰めて、体温で温めて…。山根校長「事務局局長のバラさんにだまされて、あとでほける。ほけない小唄を歌いましょう」と笑わせながらの校長訓話。さて授業は「女と男のバトルトーク?」「伊藤英雄、榊原淑友、浜口弘睦、鈴木真弓、西川裕子のコメントーターに司会進行の鈴木正士メダカ、加藤修一レポートのなんとすさまじきデータと現実のレポート。「熟年離婚・同居30年以上の離婚」「夫婦間の性交頻度」「中高生の性意識調査」などのデータ。携帯番号を使っての中高生の出会い系サイトの行動や、少女雑誌にみるどぎつい性描写(女性作家が多い)、コンビニで売られているベリバヘルスの案内と申込み本。現物を見せられての現実説明にもうびつくり。さて5人のコメントーターによる討論?。ヨソ様ブームの裏にみる熟年離婚。トップバッターは伊藤英雄。「本来男は仕事、女は家庭で…」榊原淑友「妻と娘に『お父さんは外では笑うんだ。家では笑ったことがないのに

』と言われてショックだった」。浜口弘睦「日曜日はスーパーなどに妻と買物に行くが、他の日は夕食を家で食べたことがない!」。西川裕子「私だったら、この3人の男性とは即離婚!」、鈴木真弓「主人は娘が小さい頃はよく遊んだが、そのあとが欠落!退職後は料理をつくらなくなるが我慢しながらもほめてやる…」等々、思い当たることいっぱい男たち、みれば下向き加減。女性も強い!!。第二部は、おいしい姫様弁当をいただきながらワイワイと自由討論。裏はたけなわだが私語飲食全て禁止の次回3役発表表。校長鈴木智香枝、教頭古田賢二郎、用務員は浜口弘睦。古田教頭頼みますヨ。給食係は今度も給食づくりに魅せられた人が多い。ありがとう。夜もふけて山根校長のもと「ほける。ほけない小唄」を歌って、本日は閉校。

第52回のめだかの学校の職員会議を、3月29日午後七時から磐田市の元氣村「味里」で開く。さてと、6月2日の第52回のめだかの学校の授業は?。鈴木智香枝校長のもといつものようにあてもない、こうでもない。決まった内容は「少し中国と仲良くしよう珍聞漢文(ちんぶんかんぶん)」。一時間目/国語「5分で話せる中国語」、中国へ語学留学した大場敬子さんを先生に。二時間目/書道「実技・添削で恥を書く」、当日5人の生徒を指名して、大橋町代先生に添削してもらって恥を書こう。三時間目は、「漢詩だ」ということで、音楽「みんなで聴ってストレス発散」大田民次先生に決まる。

■今回もお詫びと御礼

第52回の便りは連休前にと思いきや、いつもの如くお詫びとお礼。遅れ遅れの生原稿を「AX」ですぐ打って、メールで照井さんに送って!』のコメント付き。

鈴木武史メダカ、伊藤英雄メダカ、本島慎一郎メダカ、溝口久メダカありがとう。それらをまとめてくれるエヌビーネットの照井易子メダカ、伊藤多恵子さんありがとう。感謝です。

■第14期の申込みと継続手続きの受付を始めます。

第14期は、平成18年9月1日から19年8月31日までです。継続希望の生徒は申込書を同封しますのて、申込書に「記入のうえ、入校金千円を添えて提出してください。なお、第52回めだかの学校に出席する生徒は、ご持参ください。出席できない生徒は郵送してください。継続手続きを怠りますと、名簿からはずれ自動退学となります。ご注意ください。

(事務局・榊原幸雄メダカ)

◆めだかのたよりの原稿を!

情報ください。地域のイベント、あなたの活動を!待ってます。次回発行日は8月1日です。7月20日までに郵便かFAXで、事務局(FAX 053・545・0381)、メールの方は、照井易子あて Eメール/teru@net.co.jp メール送信の方は、割付の関係もありますので、事務局に「一報を!」よろしくお願ひします。

めだかの学校事務局

〒431-2531



静岡県浜松市引佐町東久留女木472-1111

「リンデンバウム」内 榊原幸雄 ※学舎「みどりの郷」は何もありません。連絡・お問い合わせは「事務局」まで。